

とうもろこし畑の排水性を改善しよう

とうもろこしを作り続けているほ場は、機械によって土壌が踏み固められていきます。土壌が固く緻密になると根張りは悪くなりがちです。また、雨が降るとほ場に水がたまりやすくなり作業に支障がでます。

対策としてはサブソイラを掛け、固くなった土壌を破碎する作業が有効です。



写真1 サブソイラ施工後のほ場

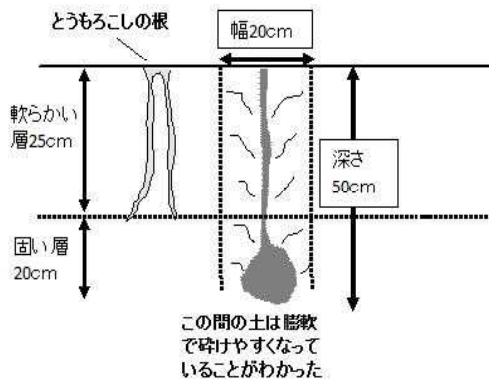


図1 サブソイラ施工の効果



写真2 サブソイラによる隙間

一 サブソイラ施工の効果

鶴居村幌呂地区において、とうもろこし作付2年目の畑で土壌を掘って、サブソイラが走った断面を調査しました。

この結果よりわかったことは、サブソイラ施工により、深さ50cm、幅20cm程度の範囲は膨軟で碎けやすくなったことです(写真2)。

これにより、ほ場の表面に溜まった水は下に抜けていき、根張りがよくなる効果が期待できます。

二 サブソイラ施工により水みちをつくる

サブソイラ施工の方向は、暗きよがあれば、これに交差させるか、斜め方向に施工しましょう。

暗きよの無いほ場は、明きよ(側溝)ののり面を突き破り、排水できるようにします。



写真3 サブソイラ

三 サブソイラ施工の注意点

①畑が十分に乾燥してから施工する。

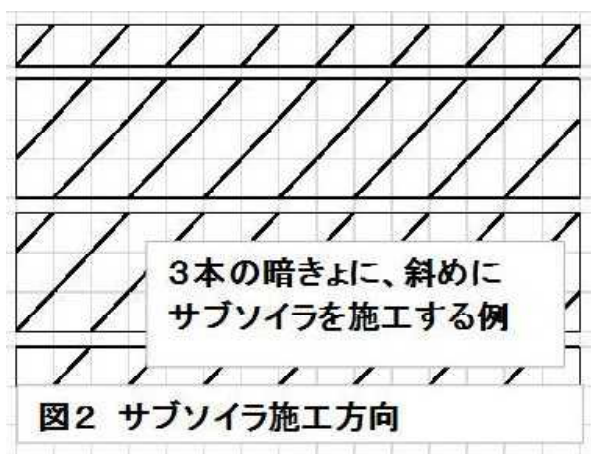


図2 サブソイラ施工方向

②作業速度は時速3〜4キロと低速で走行する。

③爪の間隔を密に施工する

〈作業手順〉

- ・とうもろこし収穫
- ・サブソイラ施工
- ・堆肥散布
- ・耕起

(平成27年4月作成)